



平成 26 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社カネカ
代 表 者 名 代表取締役社長 角倉 護
コ ー ド 番 号 4 1 1 8
上 場 取 引 所 東・名 各第 1 部
問 合 せ 先 執行役員経理部長 石原 忍
電 話 番 号 0 6 - 6 2 2 6 - 5 1 6 9

事業構造改革費用（特別損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期の連結決算において、事業構造改革費用を特別損失に計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業構造改革費用の内容

平成 26 年 3 月期連結決算において、事業構造改革費用 9,120 百万円を特別損失に計上しました。その内容は以下の通りです。

既存薄膜シリコン太陽電池に係る固定資産の減損損失	5,927 百万円
既存薄膜シリコン太陽電池に係るたな卸資産評価損	3,193 百万円
合計	9,120 百万円

当社がメインターゲットとしているわが国の住宅向け太陽電池市場では、政府のゼロ・エネルギーハウス推進を背景として高出力モジュールへのニーズが急速に高まっております。当社では、欧州の研究機関である IMEC との共同開発の結果、本年、世界最高レベルの出力を有する新型太陽電池の上市を計画致します。更には、従来より市場で好評を得ている屋根の美観を実現する当社独自の瓦一体型薄膜シリコン太陽電池の競争力強化も鋭意進めてまいります。これらを軸として、平成 26 年度から始まる新中期 3 カ年計画において、事業構造改革を推し進めます。

2. 業績への影響

上記の通り、特別損失に事業構造改革費用 9,120 百万円を計上しましたが、当期純利益は前連結会計年度を上回りました。

なお、上記に伴う業績への影響につきましては、本日公表の「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の平成 26 年 3 月期の連結業績に織り込み済みです。

以 上